



市政執行方針



高尾弘明市長



人口の減少や国による三位一体改革の影響、産炭地基金問題、そして「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による財政再生団体入りへの懸念など、財政問題を中心に有史以来の苦境の中、議員各位をはじめ市民の皆様の多大なるご支援を賜り、数々の困難を乗り越えることができましたことに心から深く感謝を申し上げます。

本年度は、第5次赤平市総合計画「活き生きプラン21」がスタートする年です。最大のピンチを脱した本市には、他のマチでは創造もつかない行動力と結集力という新たな財産を手に入れました。「再生」をキーワードに確固たる財政基盤の構築に努めると同時に、夢と希望あふれる「赤平」へ力強く踏み出すための大変重要な一年として、全精力を傾注する決意であります。一方、今日の社会情勢は、世

界的な景気後退によって、これまで安定的な経営を続けてきたと思われる企業でさえも、非正規労働者の雇用打ち切り等、雇用不安を引き起こし、日常生活を脅かす極めて深刻な状況となっておりま。

特に地方の中小企業などにとつて、益々厳しさを増すものと予想されることから、市民生活の安心確保に向け、公共建設事業の前倒しをはじめ雇用対策など、喫緊の最重要課題として最大の対策を講じてまいります。

次に、まちづくりについてであります。「自らのまちは自らつくる」という住民自治の理念に基づき、お互いに支え合える市民参加型のまちづくりを推進してまいらなければなりません。10力年間のプランとなる「活き生きプラン21」を着実に実行に移し、市民と語り合い知恵や発想を出し合いながら、無限の

可能性に共にチャレンジしてまいります。

また、人口の減少が続く現況を踏まえ、医療をはじめとする行政サービスを堅持するには、いかに周辺市町と連携を図って行くかということも大変重要であり、地方自治体としての本市のあるべき姿について、十分に議論してまいらなければなりません。

また、財政運営につきましては、近年における財政問題を教訓として、時々の課題を後世に課すことなく、迅速かつ適切な対応を図りながら、身の丈にあった財政運営を念頭に置きつつ、足腰の強い財政基盤を確立する必要があります。新たな財政健全化法に基づき、財政の健全化段階への移行を目標に掲げ努力してまいります。

以下、「第5次赤平市総合計画」(案)の5つの大綱に基づき、市政執行に努めてまいります。

1 すこやかで安心して暮らせる社会をつくりましょう

健康づくり事業

211万円

各種健康教室などを実施し、疾病予防、早期発見、早期治療に努めます。

妊婦健康診査

621万円

妊婦健康診査を現行の5回から14回に拡大します。

たばこ対策

健康づくり推進協議会の「たばこ対策にかかる提言書」に基づき、地域と連携した禁煙対策を展開します。

疾病予防等対策

2,360万円

特定健診、特定保健指導、各種がん検診、並びに健康相談や



高齢者福祉の推進

2,190万円

家族や地域で認知症を支えるサポーターを養成し、そのサポーターの活動を広く周知するとともに、サポーター拡大に向けた養成講座を開催するほか、閉じこもりの防止と対応に向けた普及啓発事業に取り組むなど、総合的な高齢者施策を推進します。

地域医療確保対策

1億5,200万円

市立病院については、「市立赤



平総合病院のあり方を考える検討会議」の指針及び「公立病院改革プラン」に基づき、近隣市町との広域連携による再編・ネットワーク化の検討を進めるとともに、医師確保対策事業に要する経費、不良債務解消額を一般会計から支出します。

独居高齢者サポート事業

日常生活と緊急時のサポート

次世代育成支援地域行動計画(後期計画)策定

307万円

市民ニーズを的確に把握した上で、時代変化に対応した少子化対策を講じるため、「次世代育成支援対策地域行動計画(後期計画)」を策定します。

せわずき・せわやき隊

「せわずき・せわやき隊」の隊員拡大やPRを進めるなど、地域全体で子ども子育て家庭を支援する活動を推進します。

母子家庭等支援

89万円

子育てと生計の維持を一人で担わなければならない母子家庭



洪水ハザードマップ策定

36万円

等の就労支援の充実が求められており、「母子家庭等高等技能訓練促進事業」及び「母子家庭等日常生活支援事業」を実施します。

高規格救急自動車購入

3,096万円

従来の救急車を「高規格救急自動車」に更新し、救命率の向上を図ります。

2 大地に根ざしたたくましい産業をつくりましょう

緊急雇用創出事業

5,695万円

今後は、特に中小企業への影響が懸念され、限られた予算ではありますが、緊急的措置として、48名の新規雇用対策を講じます。

「ものづくりのまち」を発信

地場企業の優れた技術力を生かし、本市を「ものづくりのまち」として広く発信するための具体的な方法について検討します。

(仮称)ビジネスサークル

研究会の設置

異業種間交流による新製品や新技術の開発、企業間連携を強化するため、(仮称)ビジネスサークル研究会の設置について検討します。

企業振興

2,022万円

市内企業が事業拡大や技術開発などによって、経営安定化や雇用拡大を図るため、設備投資をされる企業に対し、空知産地地域総合発展基金の有効活用や企業振興促進事業に基づき支援します。

商業振興

100万円

中心市街地における赤平駅前広場の完成や大型店の進出により、環境が大きく変化しており、店舗近代化促進事業や空き店舗活用など、人の流れをいかに見出すか、関係機関と連携を図りながら検討します。

農業振興

1,160万円

「売れる米づくり」を最大目標

林業振興

675万円

に掲げ、中山間地域等直接支払制度や農地水環境保全向上対策により、農用地などの環境整備を進めるほか、農業者や関係団体と連携を図りながら、複合経営における高収益作物などの産地化を推進します。

分取造林事業、21世紀北の森

3 個性を活かして生きる力を育てましょう

づくり推進事業並びに森林整備地域活動支援交付金事業を活用し、さらに、広域基幹林道エルクム線を整備することによって、林業の振興を図ります。

観光振興

3,560万円

エルクム高原施設の徹底したサービスにより、リピーターを含む顧客の確保に努め、集客の拡大を図るほか、財政難によって廃止されていた観光協会に対する補助金を復活します。

小・中学校図書整備

355万円

学校図書費を増額し、読書環境や学習環境の充実を図ります。

幼稚園教育振興

「3歳児保育」「預かり保育」を実施し、多様化する教育ニーズに対応します。

高校教育振興

25万円

赤平高校につきましては、志願者が減少し厳しい状況下にありましたが、高校存続に向け引き続き「赤

社会教育振興

4,190万円

食育と栄養バランスに配慮し、子どもたちに喜ばれ安全・安心できる給食づくりに努めると共に、食器洗浄器及び食缶洗浄器を更新します。

学校給食センター施設整備

平市中・高教育推進委員会などの関係機関と連携を図ります。

社会教育目標に基づき、利用者の立場にたって、交流センターみらい並びに東公民館などの効果的な運営に努めます。



4ゆとりと潤いのある快適な生活を支えましょう

公的住宅建替事業

3,560万円

福栄地区の御幸団地の3棟26戸を除却し、茂尻団地の建替事業を平成22年度から着工するため実施設計を行います。

公的住宅改修事業

8,182万円

春日第二団地24戸、宮下東団地24戸の屋上防水補修並びに給排水管取替工事、茂尻新町団地52戸、栄町団地8戸の水洗化工事、幸・新光団地のシルバー住宅（バルコニー）に手すりを設置します。



道路整備事業

6,200万円

生活の安全性や居住環境整備に向け、曙南1号通・若葉通・東文1条通の改良舗装工事、並びに川添通の歩道改良舗装工事を実施します。

移住定住促進事業

北国住宅地整備事業計画を基本として、豊丘南団地の分譲地を市内外にわたって広くPRし、持ち家による移住定住化の促進を図ります。

除雪機械整備

3,997万円

除雪グレーダーを購入し、計

画的な除排雪対策に努めます。

公共交通対策

38万円

生活圏の拡大を図るため、新たに新光団地のバス停留所を設置する費用を負担します。

上水道整備

3,500万円

安全・安心な生活用水を市民に提供するため、浄水施設の補修や補強等に努めます。

下水道整備

5,694万円

日の出地区などの公共下水道工事を行うほか、既存施設の維持修繕を図るとともに、未水洗化世帯の解消を進めるなど、生活環境の向上と公共水域の水質改善に努めてまいります。

ゴミ減量化対策

32万円

ゴミの減量化については、市民一人ひとりの積極的な取り組みによって、一定程度の成果を上げておりますが、一層市民の

5人と人が語り合い行動できる地域づくりを進めましょう

情報共有と評価

「パブリックコメント」「市民まちづくり評価制度」並びに住民懇談会など、市民参加や直接的対話の機会を拡充します。

まちづくり活動推進事業

130万円

各種団体に対する「まちづくり活動推進事業補助金」などを有効活用し、地域活性化と共有社会の実現に努めます。

行財政改革

「赤平市財政健全化計画（改訂版）」を基本に引き続き行財政改革に取り組むと共に、健全化段階への移行を目標に財政運営を行います。

まちの将来像

「定住自立圏構想推進要綱」など、近隣市町と連携すべき事項や単独で維持すべき事項など、本市の将来あるべき姿について、様々な角度や分野から慎重を期して検討します。



「ご理解とご協力をお願いするほか、「資源回収活動団体奨励助成事業」を活用し、資源ゴミの減量化及び有効活用を図ります。